



# Cisco Unified MeetingPlace Express 管理センターの使用の開始

改訂：2006年10月18日、OL-12185-01-J

この項の内容は、次のとおりです。

- [管理センターにアクセスするための前提条件 \(P. 1-1\)](#)
- [初回ログイン \(P. 1-2\)](#)
- [管理者プロファイルのパスワードの変更 \(P. 1-3\)](#)
- [スケジュールされた会議および予約不要の会議用のシステムの設定：Cisco Unified MeetingPlace Express \(P. 1-4\)](#)
- [アドホック会議用のシステムの設定：Cisco Unified MeetingPlace Express VT \(P. 1-8\)](#)
- [このドキュメンテーションに関する最新の更新情報 \(P. 1-9\)](#)

この章の内容は、次の両製品に適用されます。

- Cisco Unified MeetingPlace Express：スケジュールされた会議、予約不要の音声会議、Web 会議用
- Cisco Unified MeetingPlace Express VT：アドホックの音声会議、ビデオ会議、Web 会議用

## 管理センターにアクセスするための前提条件

Cisco Unified MeetingPlace Express 管理センターにアクセスするには、ユーザ タイプ がシステム管理者または アテンダント に設定された Cisco Unified MeetingPlace Express ユーザ プロファイルを持っていることが必要です。



(注)

アテンダントとしてシステムにログインしている場合、使用できるのは管理センターの一部のページだけです。「[アテンダントについて](#)」(P. 8-9) を参照してください。

### 関連項目

- [初回ログイン \(P. 1-2\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express 管理センターの使用の開始 \(P. 1-1\)](#)

## 初回ログイン

この項では、Cisco Unified MeetingPlace Express 管理センターに初めてログインするときのログイン方法を説明します。システム管理者として、新しいデフォルトのシステムにログインするときは、事前定義されている管理者プロファイルを使用します。

### 手順

- 
- ステップ 1** Web ブラウザで、Cisco Unified MeetingPlace Express サーバの URL にアクセスします。
  - ステップ 2** [ログイン] をクリックします。
  - ステップ 3** ユーザ名として「admin」を入力します。
  - ステップ 4** パスワードとして「cisco」を入力します。パスワードフィールドでは大文字と小文字が区別されません。
  - ステップ 5** [ログイン] ボタンをクリックします。
  - ステップ 6** [管理] をクリックします。
  - ステップ 7** 権限のないユーザによる管理センターへのアクセスを防ぐには、「[管理者プロファイルのパスワードの変更](#)」(P. 1-3)に進んでください。
- 

### 関連項目

- [Cisco Unified MeetingPlace Express 管理センターの使用の開始](#) (P. 1-1)

## 管理者プロフィールのパスワードの変更

この項では、事前設定されている管理者プロフィールのパスワードを変更する方法を説明します。権限のないユーザによるシステムへのアクセスを防ぐために、このタスクを実行することをお勧めします。

管理者プロフィールのデフォルトのパスワードは次のとおりです。

- ユーザパスワード : **cisco** : ワークステーションからログインするときに使用します。
- プロファイルパスワード : **24726** : プッシュホンから認証を受けるときに使用します。

### 始める前に

ログイン方法が不明な場合は、「[初回ログイン](#)」(P. 1-2) を参照してください。

### 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace Express にログインします。
  - ステップ 2** ページの上部にある [管理] をクリックします。
  - ステップ 3** ページの左側で次の操作を実行します。
    - a. [User Configuration] をクリックします。
    - b. [User Profile Management] をクリックします。
  - ステップ 4** 検索フィールドに「admin」と入力します。
  - ステップ 5** [Search] ボタンをクリックします。
  - ステップ 6** 管理者プロフィールと同じ行にある [Edit] をクリックします。
  - ステップ 7** 次のフィールドを設定します。
    - [User password](#)
    - [User Password Confirm](#)
    - [Profile Password](#)
    - [Profile Password Confirm](#)
  - ステップ 8** [Save] をクリックします。
- 

### 関連項目

- [初回ログイン](#) (P. 1-2)
- [管理者プロフィールについて](#) (P. 8-21)
- [管理者プロフィールのパスワードリカバリ オプションについて](#) (P. 16-9)
- [ユーザプロフィールについて](#) (P. 8-4)
- [概要 : ユーザプロフィールの追加](#) (P. C-18)
- [ユーザパスワード要件の設定](#) (P. 11-3)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express に対するセキュリティ機能の設定](#) (P. 11-1)

## スケジュールされた会議および予約不要の会議用のシステムの設定 : Cisco Unified MeetingPlace Express

この項では、スケジュールされた会議および予約不要の会議用の基本的構成のセットアップに必要な高レベル タスクを示します。このトピックの内容は、次の場合に適用されます。

- Cisco Unified MeetingPlace Express システムを所有している場合。
- Cisco Unified MeetingPlace Express VT システムを所有しているが、スケジュールされた会議および予約不要の会議の機能を試したい場合。ライセンスとポートの制限が適用されることに注意してください。



(注)

代わりに、アドホック会議用にシステムをセットアップする場合は、「アドホック会議用のシステムの設定 : Cisco Unified MeetingPlace Express VT」(P. 1-8) を参照してください。

### 始める前に

- Cisco Unified MeetingPlace Express のインストールとテストを行います。手順は、『*Cisco Unified MeetingPlace Express インストールアップグレードガイド*』を参照してください。
- スケジュールされた会議および予約不要の会議の概要については、次の項を参照してください。
  - 予約不要の会議についての情報 (P. 5-7)
  - スケジュールされた会議に関する情報 (P. 5-3)

### 手順

	高レベル タスク	手順の説明
ステップ 1	管理センターにログインします。	初回ログイン (P. 1-2)
ステップ 2	管理者プロファイルのデフォルトのパスワードを変更します。	管理者プロファイルのパスワードの変更 (P. 1-3)
ステップ 3	systemsoftware ライセンスおよびその他の購入済みライセンスをインストールします。	ライセンスのインストールと管理の方法 (P. 3-7)
ステップ 4	フロータ ポートとオーバーブッキング ポートを設定します。	スケジュールされた会議および予約不要の会議の推奨ポート設定 (P. 5-11)  スケジュールされた会議および予約不要の会議に関するシステムレベル パラメータの設定 (P. 5-15)
ステップ 5	(オプション) System ユーザ グループの次のフィールドを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Can call out of meetings</b> : [Yes] を選択すると、Cisco Unified MeetingPlace Express からユーザへのダイヤルアウトが可能になります。</li> <li>• <b>Publish meeting</b> : デフォルト値は [No] です。エンドユーザの [会議の検索] ページにデフォルトで会議が表示されるようにする場合に [Yes] を選択してください。スケジュール担当者は、個々の会議を公開するかどうかを選択できます。</li> </ul>	ユーザ グループの変更 (P. 8-28)

	高レベルタスク	手順の説明
ステップ 6	ユーザ プロファイルを追加します。  または  有効な 電子メールアドレス を持つテスト ユーザ プロファイル を1つ以上手動で追加します。このユーザ プロファイルのメッセージにシステム管理者がアクセスできる必要があります。	ユーザ プロファイルの追加方法について (P. 8-5)  または  ユーザ プロファイルの手動追加 (P. 8-30)
ステップ 7	電子メール通知を行うための外部 SMTP サーバに接続します。	SMTP サーバの設定 (P. 14-6)
ステップ 8	(オプション) Cisco Unified MeetingPlace Express からのダイヤルアウトをゲスト ユーザに許可するかどうかを指定します。	ゲスト ユーザのダイヤルアウト特権の制限 (P. 11-8)
ステップ 9	ユーザが会議に参加するとき使用されるアクセス電話番号を設定します。	会議電話番号と通知ラベルの設定 (P. 4-8)
ステップ 10	Cisco Unified MeetingPlace Express とコール制御デバイスを統合します。	Cisco Unified MeetingPlace Express 用コール制御統合の設定 (P. 7-1)
ステップ 11	(オプション) Cisco Unified CallManager を使用する場合は、外部ディレクトリによるユーザ認証を設定できます。	外部ディレクトリによるユーザ認証について (P. 7-13)
ステップ 12	この基本構成を検証します。	スケジュールされた会議および予約不要の会議用のシステムセットアップのテスト (P. 1-5)

#### 関連項目

- [Cisco Unified MeetingPlace Express 管理センターの使用の開始 \(P. 1-1\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express のためのスケジュールされた会議および予約不要の会議の設定 \(P. 5-1\)](#)

## スケジュールされた会議および予約不要の会議用のシステム セットアップのテスト

この項では、スケジュールされた会議および予約不要の会議を行うための基本システム構成の検証方法を説明します。ここで説明する手順の詳細は、『[Cisco Unified MeetingPlace Express ユーザ ガイド](#)』を参照してください。

#### 始める前に

「[スケジュールされた会議および予約不要の会議用のシステムの設定 : Cisco Unified MeetingPlace Express](#)」(P. 1-4) の手順をすべて実行します。

#### 手順

- ステップ 1** 次のいずれかの方法でログインします。
- 管理センターで作成したユーザ プロファイルのユーザ名とパスワードを入力します。
  - 外部ディレクトリによるユーザ認証を有効にした場合は、その外部ディレクトリのユーザ名とパスワードでログインできることを確認します。



(注) 電子メール通知が機能していることをテストするには、ユーザ プロファイルで指定されている電子メール アドレスのメッセージに、テストを行うユーザがアクセスする必要があります。

**ステップ 2** 次のいずれかを実行します。

- a. [予約不要の会議の開始] をクリックして、予約不要の会議を開始します。
- b. [スケジュール] をクリックし、次のパラメータを使用してテスト会議のスケジュールを作成します。
  - 時刻 : 5 分後の時刻
  - 長さ : 30 分間
  - 参加者数 : 2

**ステップ 3** (スケジュールされた会議の場合のみ) このテスト会議に関する電子メール通知をユーザが受け取ったことを確認します。

**ステップ 4** 音声会議への参加と記録が可能であることを確認します。

- a. アクセス電話番号の 1 つに電話をかけます。
- b. テスト会議 ID を入力して、会議に参加します。
- c. #61 を押して、会議の記録を開始します。
- d. (オプション) 他の電話機から、同じテスト会議に電話をかけます。

**ステップ 5** ダイヤルアウト機能を確認します。また、Web インターフェイスから Web 会議に参加可能であることを確認します。

- a. Web ブラウザから、Cisco Unified MeetingPlace Express サーバの URL にアクセスします。
- b. [参加] をクリックします。
- c. テスト会議の会議 ID を入力して [進む] をクリックします。
- d. 次のチェックボックスをオンにします。
  - 呼出し先 : オフィスの電話機から電話をかけるときと同じ形式で、自分の電話番号を指定します。
  - Web 待合室に入る
- e. [会議に参加] をクリックします。
- f. 次の状態になることを確認します。
  - システムから電話がかかり、音声会議に接続される。
  - Web 会議室が表示される。

**ステップ 6** Web ブラウザを閉じ、すべての電話機の通話を切ります。

**ステップ 7** 15 分間待ちます。

**ステップ 8** 会議の記録にアクセスできることを確認します。

- a. Web ブラウザから、Cisco Unified MeetingPlace Express サーバの URL にアクセスします。
- b. [検索] ページを使用して、テスト会議を検索します。
- c. 会議の記録へのリンクをクリックして、記録を聞きます。

### トラブルシューティングのヒント

- Web 会議室が表示されない場合は、コンピュータまたは Web ブラウザのポップアップ ブロック機能を無効にしていることを確認してください。
- 電話がかかってこない場合
  - ダイヤルアウト発信に失敗した理由を説明するポップアップ メッセージが表示されることがあります。
  - システムが電話をかけようとするときは電話回線が使用中でないことを確認してください。
  - 入力した電話番号の形式が、オフィスの電話機からかけるときの形式と同じであることを確認してください。たとえば、オフィス内の他の電話機にかけるときに下 4 桁だけダイヤルすればよい場合は、その 4 桁だけを入力します。同様に、携帯電話の番号を入力する場合は、たとえば外線発信用の「9」と番号全体を入力します。
- トラブルシューティングに関するその他のヘルプについては、以下を参照してください。
  - 『*Cisco Unified MeetingPlace Express ユーザガイド*』の「Troubleshooting and Getting Help」の章
  - [トラブルシューティング Cisco Unified MeetingPlace Express \(P. 16-1\)](#)
  - [Cisco Unified MeetingPlace Express トラブルシューティングガイド](#)

### 関連項目

- [スケジュールされた会議および予約不要の会議用のシステムの設定 : Cisco Unified MeetingPlace Express \(P. 1-4\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express 管理センターの使用の開始 \(P. 1-1\)](#)

## アドホック会議用のシステムの設定 : Cisco Unified MeetingPlace Express VT

この項では、アドホック会議用にシステムをセットアップするときに必要な高レベル タスクを示します。このトピックの内容は、次の場合に適用されます。

- Cisco Unified MeetingPlace Express VT システムを所有している場合。
- Cisco Unified MeetingPlace Express システムを所有しているが、アドホックの音声会議、ビデオ会議、Web 会議の機能を試したい場合。ライセンスとポートの制限が適用されることに注意してください。



(注)

代わりに、スケジュールされた会議および予約不要の会議用にシステムをセットアップする場合は、「[スケジュールされた会議および予約不要の会議用のシステムの設定 : Cisco Unified MeetingPlace Express](#)」(P. 1-4) を参照してください。

### 始める前に

- システムを主にアドホック会議に使用する場合は、Cisco Unified MeetingPlace Express VT 製品を購入してください。
- Cisco Unified MeetingPlace Express アプリケーションをインストールして、インストレーションをテストします。手順は、『[Cisco Unified MeetingPlace Express インストレーションアップグレードガイド](#)』を参照してください。
- アドホック会議の概要については、「[アドホック会議についての情報](#)」(P. 6-3) を参照してください。

### 手順

	高レベル タスク	手順の説明
ステップ 1	管理センターにログインします。	<a href="#">初回ログイン (P. 1-2)</a>
ステップ 2	管理者プロファイルのデフォルトのパスワードを変更します。	<a href="#">管理者プロファイルのパスワードの変更 (P. 1-3)</a>
ステップ 3	<a href="#">adhocsystemsoftware</a> ライセンスおよびその他の購入済みライセンスをインストールします (6 個を超えるアドホック会議ポートをサポートするために必要)。	<a href="#">ライセンスのインストールと管理の方法 (P. 3-7)</a>
ステップ 4	Cisco Unified CallManager を、Cisco Unified MeetingPlace Express のコール制御デバイスとして設定します。	<a href="#">Cisco Unified CallManager との統合について (P. 7-2)</a>
ステップ 5	アドホック会議用に Cisco Unified MeetingPlace Express を設定します。	<a href="#">アドホック会議に関する Cisco Unified MeetingPlace Express の設定 (P. 6-7)</a>
ステップ 6	Cisco Unified CallManager に、Cisco Unified MeetingPlace Express を Cisco ビデオ コンファレンスブリッジとして追加します。	<a href="#">Cisco Unified MeetingPlace Express を会議ブリッジとして使用するための Cisco Unified CallManager の設定 (P. 6-8)</a>



	高レベル タスク	手順の説明
ステップ 7	(オプション) Cisco Unified MeetingPlace Express と Cisco Unified Personal Communicator を統合します。	<a href="#">Cisco Unified Personal Communicator との統合方法 (P. A-4)</a>
ステップ 8	<p>(オプション) セットアップしたシステムで、次のタイプのアドホック会議が機能するかどうかをテストします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Personal Communicator 音声、ビデオ、Web 会話</li> <li>• Cisco Unified CallManager アドホック会議</li> <li>• Cisco Unified CallManager Meet-Me 会議</li> </ul> <p>アドホック会議は Cisco Unified MeetingPlace Express エンドユーザ インターフェイスではなく他の製品を使用して開始されることに注意してください。</p>	<p>関係するエンドポイント製品およびバージョンのドキュメンテーションを参照してください。次に例を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco Unified Personal Communicator ドキュメンテーション</a></li> <li>• <a href="#">Cisco Unified IP Phone ドキュメンテーション</a></li> <li>• <a href="#">Cisco IP Communicator ドキュメンテーション</a></li> <li>• <a href="#">Cisco Unified Video Advantage ドキュメンテーション</a></li> </ul>

#### トラブルシューティングのヒント

- トラブルシューティング情報については、『[Cisco Unified MeetingPlace Express トラブルシューティングガイド](#)』を参照してください。
- 音声およびビデオのエンドポイントの使用方法については、[ステップ 8](#) に示した個々の製品のドキュメンテーションを参照してください。

#### 関連項目

- [Cisco Unified MeetingPlace Express 管理センターの使用の開始 \(P. 1-1\)](#)
- [アドホック会議についての情報 \(P. 6-3\)](#)

## このドキュメンテーションに関する最新の更新情報

このガイドの内容は、Cisco.com で公開されており、Cisco Unified MeetingPlace Express 管理センターのオンライン ヘルプとしても参照できます。

このドキュメントの PDF および HTML の最新バージョンを参照するには、[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/prod_maintenance_guides_list.html) にアクセスしてください。

このドキュメントのタイトルは、『Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーション メンテナンス ガイド Release 1.2』です。

このドキュメントの追加情報または修正情報が、Cisco Unified MeetingPlace Express リリース ノートの「Documentation Updates」の項 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/prod_release_notes_list.html)) に記載されている場合があります。

この製品の全ドキュメントの一覧については、『Documentation Guide for Cisco Unified MeetingPlace Express』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/products\\_documentation\\_roadmaps\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/products_documentation_roadmaps_list.html)) を参照してください。

#### 関連項目

- [Cisco Unified MeetingPlace Express 管理センターの使用の開始 \(P. 1-1\)](#)

■ このドキュメンテーションに関する最新の更新情報